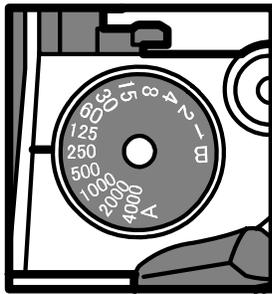
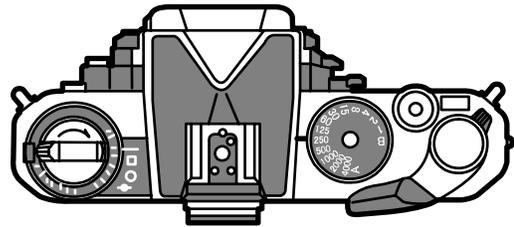
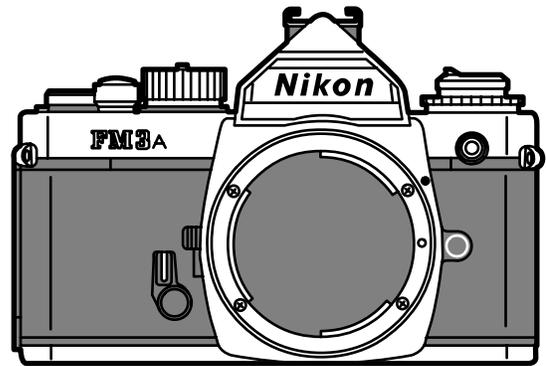


Nikon FM3A

スペック	
シャッター	1/4000～8秒（電子シャッター） 1/4000～1秒・B（機械シャッター）
X接点	1/250秒
測光方式	中央部重点測光
撮影モード	絞り優先（電子制御）/マニュアル（機械制御）
サイズ	142.5×90.0×58mm
重量	570g
発売年	2001年
新品価格	96,000（ブラックボディは3,000高）
中古相場	-
備考	モータードライブ装着可。 露出計はアナログメータ式。 絞り値は光学直読式。 ファインダー視野率93% ファインダー倍率0.83倍



全体的な印象としてはFM2とほとんど変わらないようだ。相変わらず分割巻上げは出来ないが、シッカリ感があり頼もしい。オーソドックスなニコン式カメラであるため、ニコンに慣れた者ならば操作に戸惑うことは無いだろう。まあ、元々説明書が要らぬほどシンプルではある。小さな事だが、巻き上げレバー軸にシボ皮が貼られていないのがニコマートに似る。

外観がFM2に似ているため、露出補正ダイヤルがあるのが不思議な印象。ボタンを押しながら補正ダイヤルを回すというのはF3などと同様だが、操作は格段にスムーズになっている。

ハイブリッドシャッターゆえ、シャッターダイヤルはメカと電子の両方に働きかけるそうだが、FGのダイヤルのようなあからさまに不均一な感触は無い。全体的にダイヤルクリックの感触はスッキリしている。少なくともFM2の時のような粘りは無く、どちらかと言うとF3系の感触に近い。

電子/機械式ハイブリッドシャッターがこのカメラの大きな特徴だが、これは実質的なメリットがあるかどうかは別として、心理的な安心感に繋がろうかと思う。いわゆる保険である。ただ、今までは「Canon EF」や「Canon NewF-1」などのように、高速シャッター機械式/低速シャッター電子式というシェア型のハイブリッドシャッターを採用した例はあったが、この「Nikon FM3A」のような完全に全速度ハイブリッドシャッターというのは世界初である。それ故、このシャッターの信頼性などは現時点(2001.08.28)では未知数であり、慎重派にとっては今後の活躍を見守る必要があるだろう。